

オブジェクト指向プログラミング

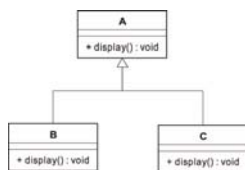
〇〇編 第4回

ポリモーフィズムを利用した 完全なデータ抽象

- 目的
 - ポリモーフィズムの仕組みと利点欠点を理解する
- キーワード
 - ポリモーフィズム, 継承, インターフェイス

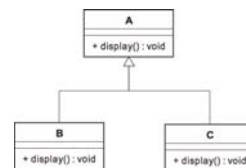
違う型に代入できる

- 今まで
 - A x1 = new A();
 - B x2 = new B();
 - C x3 = new C();
- ポリモーフィズム
 - A x1 = new B();
 - A x2 = new C();



なぜできるか

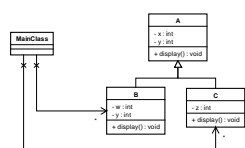
- Super x = Sub();
- サブクラスのインスタンスならメソッド, 属性呼び出しが保証できるから
 - ex)
 - Super x = Sub();
 - x.display();
- 練習問題1
 - サブクラスのメソッド優先



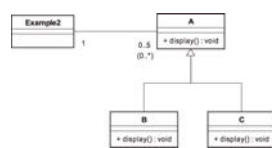
なぜそんなことが必要か

- 同じものとして扱えると便利なきが多いから

ただの継承



ポリモーフィズム



同じ配列に入れられる

- Example2: 繰返しが使える

